



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第21号

令和5年2月16日

## 3年振り5・6年スキー学習!



2月3日（金）に6年、9日（木）に5年生が3年振りとなるスキー学習を行いました。両日とも天候に恵まれ、気持ちよく学校を出発し五箇山タカンボースキー場へ向かいました。到着すると空は晴れ渡り、雪も十分に積もっていて、絶好のスキー日和となりました。

バスから降りて荷物を整理し、どんぐりの館前で開講式を行いました。児童代表が元気よく挨拶しました。そして、指導員の先生方が紹介されました。班に分かれ、それぞれ指導員の先生に従って講習を開始しました。5・6年ともに初めてスキーをする子供たちが多く、まずスキー靴の履き方から指導員の先生に教えていただきました。

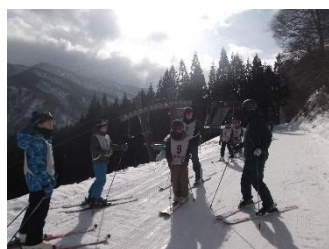


初・中級班は、準備運動をした後、スキーに慣れるため、平地で片足に板を履き、歩く練習をしました。できるようになったら緩やかな坂を使って、滑る、止まるに挑戦しました。上級班は、緩斜面を滑りスキー操作を確認してから、リフトに乗って上がりました。子供たちは指導員の先生の話をよく聞き、安全に気を付けて滑っていました。

昼は班ごとに美味しいカレーを食べて、力を回復し、午後の講習に臨みました。初級・中級班の子供たちもリフトに初めて乗りました。緩やかな林間コースをととても楽しそうに滑っていました。

閉講式では、児童代表が指導員のみなさんに感謝の気持ちを述べました。大きなけがもなく、スキー学習を無事に終えることができほっとしました。子供たちの楽しそうな様子を見て、「富山に生まれたからにはスキーの体験をさせてあげる」のはいいことだと改めて感じました。

子供たちは、みんな思い切り楽しんで満足したようです。帰りのバスの中ではぐっすり寝て、いつの間にか学校に戻ってきました。



# 中学校について教えてもらいました！

1月24日（火）に射北中学校から小竹校長先生がご来校され、「東明小学校6年生のみなさんへ」と題して中学校についての説明をしていただきました。始めに「中学校へ行くのが楽しみな人？不安な人？」と問われると、多くの子供たちが不安な方に挙手していました。次に、ウォーミングアップで「ジャンケンゲーム」をした後、小竹校長先生の幼少の頃の武勇伝を聞き、場は一気に和みました。

「中学校はどんなところ？」のテーマでは、失敗しながらもその失敗を次に生かし、挑戦していく、そして、自分の能力を伸ばす場が中学校であるということをお教えいただきました。また、大人への準備をするトレーニングの場であり、いろいろなルールは自分や他人を守るためにあり、ルールを守るような人間に成長してほしいと言われました。

子供たちが最も心配な学習や部活動等の学校生活について、中学1年生のアンケート結果を基に説明されました。部活動ではヨット部の活躍が有名で、今年も全国大会で優勝したということです。学習については、授業時間が45分から50分になることや英語の授業が2時間増えること、テスト期間があることなどが紹介されました。アンケート結果から分かったことは、部活動と学習の両立が難しいこと、テスト勉強が大変だということ、予習・復習の準備が大切だということを知り、子供たちは真剣な顔つきでメモを取っていました。東明小学校出身の中学生からの「中学校で待っています」という心温まるメッセージビデオも視聴しました。最後に小竹校長先生が「愛される人、褒められる人、役に立つ人、必要とされる人」になってほしいと話されて、貴重な説明会を終えました。話を聞いた子供たちは「予習と復習を今のうちからしっかりしようと思います」「先輩たちからのメッセージが励ましになりました」「私は部活についてとても不安でまだ決めていませんが、校長先生の話聞いて、少し安心しました」「今の時間を大切に過ごさなければならないと実感しました。文武両道でできるよう頑張ります」と思いを高めました。



10年に一度の寒波が襲来ということで1月25日（水）は臨時休業となりました。保護者の皆様には急な変更にもかかわらず、ご対応いただき誠にありがとうございました。たくさん雪が積もり、その後の登下校も大変でしたが、スキー学習では積雪に恵まれ、安全に活動することができました。

先日、厳寒に耐えて赤く咲き誇る庭のサザンカを見て、自然の強さ・偉大さを感じると共に私たちも寒さに負けず頑張ろうという気持ちが高まりました。健康に留意し、元気に過ごしましょう。



(校長 阿尾昌樹)